

美作国建国1300年記念事業として、津山市では12の事業に取り組みます。今回は、そのうち6つの事業を紹介します。

美作国建国1300年記念グルメでおもてなし



美作地域で古くから受け継がれてきた地元の食材を生かして、津山を感じられる弁当を開発し、ご当地弁当として売り出します。
また、建国1300年を記念した創作料理でもてなします。

今蘇る古の味、醍醐 ～過去から現代への贈り物と新しい発見～



美作国建国当時、貴族の間で珍重されていたと伝わる、牛乳を使って作られた食べ物「醍醐」を再現し、スイーツなどに混ぜることで、現代版醍醐として蘇らせます。

「新美作略史」出版事業



明治時代に出版された歴史書「美作略史」(矢吹正則著)に、明治以降の歴史研究によって収集された資料を併せて「新美作略史」として編集します。

「さくら」によるまちづくりの全国会議 第21回 全国さくらサミットin津山

「さくら」によるまちづくりを行っている全国の自治体が集まり、会議やエスカーション(参加者も活発に意見を交わすなど、体験や理解を深めていく現地説明会)などを行います。

とき 4月7日(日)・8日(月)
ところ 津山国際ホテルほか



美作国建国1300年記念津山、歴史と文化の再発見ツアー

美作国建国1300年の歴史にゆかりのある地や文化を感じてもらえる観光ルートを開発して、バスツアーや観光タクシーで訪れてもらいます。



陶棺復元プロジェクトと美作の陶棺展

水原古墳(新野山形)から出土した陶棺(東京国立博物館所蔵)の複製を制作・展示します。また、陶棺に関する講演会やシンポジウムを開催します。



ふるさと再発見
美作国おもてなし

美作国内に設置された場所(登録ポイント)などを巡るスタンブ・フォトラリーを行います。

とき 4月3日(水)～平成26年1月15日(水)

参加手順

- おもしろラリーパスポートを手に入れます
- 登録ポイントを巡って、スタンプを集めたり、イベントに参加して写真を撮ったりして応募ポイントを獲得します
- 賞品ごとに決められた必要ポイントを集めて応募します
- 抽選で、美作国内にある旅館やホテルの宿泊券や入浴券などが当たります

岡美作国建国1300年記念事業実行委員会 ☎35・3434

きらめく 津山人

一宮小学校支援ボランティア
地域コーディネーター
菊岡美和さん(小原)



地域と学校をつなげたい

地域の人が学校の活動や授業に参加する「学校支援」に取り組む一宮小学校で、地域コーディネーターとして活動する菊岡さんにお話を伺いました。

地域コーディネーターとは、どんなことをしているのですか？

一宮小学校では、約250人のボランティアが授業支援、登下校時の見守り、本の読み聞かせ、環境整備などの学校支援を行っています。このような学校からの要望に応じて、学校とボランティアをつなぐことが地域コーディネーターの役割です。

授業支援とはどんな活動ですか？

家庭科のミシン学習や調理実習、

やりがいは何ですか？

ボランティアをした人から「役に立ってうれしい」「子どもたちの笑顔で元気をもらった」や、先生から「支援がほしい時に、授業を助けてもらえてよかった」と言ってもらったり、地域の人が学校に来ることで、子どもたちが喜んでる姿を見たりすると、やりがいを感じます。

ボランティアの皆さんは熱心で協

理的実験などの授業で、子どもたちにやり方をアドバイスしたり、サポートが必要な時に手伝ったりしています。地域の探検をする時には、引率の補助をすることもあります。

どうして地域コーディネーターになったのですか？

3年ほど前、地域の会議で「地域を盛り上げるにはどうしたらいいか」という話になりました。その中で「ほかの地域では、学校支援で地域が盛り上がった」という話が出て、取り組むことになりました。

そして、最初にボランティアを募集するお手伝いをしたことがきっかけで、学校へ行く回数が増え、学校や地域の人が顔見知りも増えました。そうしたこともあり、一宮小学校が市の学校支援のモデル校になった時、地域コーディネーターを引き受けることにしました。

今後、目指すことは何ですか？

学校が地域コミュニティの拠点の一つとなることですね。

子どもたちが、地域から見守られ、大切にされていると実感できる。学校も地域の人が協力してもらうことで授業がより充実する。ボランティアも学校が生きがいの場となるなど、相乗効果が生まれ、地域が盛り上がっていくといいですね。

そして、子どもたちが大きくなり、地元を離れても「この地域にいつかは帰って来たい」「学校のボランティアをやりたい」と思ってもらえたらうれしいです。



▲理科の授業支援の様子